

会議の結果

係	係長	課長	次長	教育長
件名	平成21年度第2回社会教育委員会議定例会			
日時	平成21年7月17日(金曜日)13時30分～16時20分			
場所	田辺市民総合センター 4階交流ホール			
出席者	社会教育委員：平野委員 千品委員 田ノ岡委員 鈴木委員 川根委員 山本委員 近藤委員 西川委員 高垣委員 久保正委員 久保智委員 嶮口委員 羽根委員 計13名 職員：濱田教育次長 生涯学習課大門課長 図書館松原館長 図書館太田次長 龍神教育事務所鈴木所長 生涯学習課小川生涯学習推進係長 生涯学習課三栖公民館係長 生駒生涯学習指導員 中田地域教育主事 スポーツ振興課川合市民スポーツ係長 文化振興課裕文化振興係長 美術館辰巳主任 生涯学習課生涯学習推進係岡本主査 計13名			

1. 教育長あいさつ

教育長が公務不在のため、濱田教育次長からあいさつを行った。

5月のクジラ騒動と7月7日の集中豪雨についての田辺市の状況を説明。

ひとつのことがあれば継続して引き継いでいくことが大切であり、以前から教えてもらった昭和49年の七夕水害のように、これからの新規採用職員や若い職員などにも引き継いでいきたい。今日は説明事項・報告事項・協議事項とありますが、委員の皆さんの活発な意見をいただき、実りある会議にしていただきたい、と述べた。

2. 議長あいさつ

7月7日の集中豪雨について、田辺市の中心街での状況に驚いた。私たちの龍神は山間部で、あそこまでの水害は考えられなかったが、崖崩れにより高野山方面や田辺方面への道が通行止めになるなどの被害があった。大地震等への懸念は抱いていたが、それ以外でもこういった被害は本当に間近にあることを実感した。こういう場合に、大切になってくるのが地域の力であり、地域力の向上を真剣に考えていく必要があると考えさせられた。本日は、皆さんに遠慮なく発言をいただき協議していきたい、と述べた。



3. 説明事項

会議の進め方、及び時間設定等を議長から説明を行った後、各課からの説明を行った。

【説明】

(1) 平成21年6月議会について

濱田教育次長から「資料1～17頁」について、説明を行った。

生涯学習推進係小川係長から「資料18頁」について、説明を行った。

(2) 第2期田辺市地域コーディネーター養成講座について

(3) 平成21年度田辺市PTA連合会の役員について

(4) 平成21年度田辺市青少年育成市民会議の役員について

- 生涯学習推進係小川係長から「資料19～23頁」について、説明を行った。
- (5) 田辺市体育指導員の委嘱について
市民スポーツ係川合係長から「資料24～27頁」について、説明を行った。
 - (6) 第56回田辺市美術展覧会開催要項について
 - (7) 大阪シンフォニカー交響楽団について
文化振興係碓係長から「資料28～29頁」及び別紙「大阪シンフォニカー交響楽団」について、説明を行った。
 - (8) 平成21年度第20回自然生活へのチャレンジ推進事業について
龍神教育事務所鈴木所長から「資料30～31頁」について、説明を行った。
 - (9) 田辺市立図書館協議会委員の委嘱について
図書館太田次長から「資料32頁」について、説明を行った。
 - (10) 田辺市立美術館協議会委員及び田辺市立美術館作品選定委員会委員の委嘱について
 - (11) 山本丘人展 魂の抒情詩について
美術館辰巳主任から「資料33頁」及び別紙「山本丘人展 魂の抒情詩」について、説明を行った。

4. 報告事項

生涯学習推進係小川係長から補足説明として、「田辺市学社融合研修会」及び「第52回県公民館大会」について、説明を行った。その他の報告事項については、説明は無し。

【質疑応答】

[川根委員]

地域コーディネーター養成講座で、地域参加型と市民参加型ということで、現在の募集状況と20名の公民館推薦の進捗状況について聞かせてほしい。また、前は高齢の方が多かったので、地域を担う若手を起用すると聞いていますが、その点はいかがでしょう。



[小川係長]

地域参加者は、公民館推薦の16名は申し込みをいただいています。各館長様にも昨年よりはずいぶん若い方をご推薦いただいております。残りの4館は、7月末まで待ちます。

公募は7月の広報誌、田辺市のホームページなどで掲載していますが、現在応募はございません。委員の皆さんのお知り合いの方で、これぞという方がいましたら、是非ご推薦をお願いします。

[久保議長]

委員の皆さんのお知り合いの方でお若い方、またお年を召された方でも知識や経験が豊富な方がおられましたらご推薦をいただきたいと思います。

[高垣副議長]

前回のクラシックのコンサートで、素敵なコンサートを安くしていただいているので、参加者も増えてきていると感じましたが、それだけに前回凄く残念なことがありました。会場の管理、音の面やマナーの面をもう少しご配慮いただきたいと思います。

[碓係長]

前回のフルートコンサートですが、休憩に入ったと勘違いされて会場から出られた方がかなりの人数おりまして、演奏が始まってから慌てて入場された方がおられました。その関係で演奏が止まってしまったという状況がありました。この件につきましては、会場を管理しておった私どもの手はずがまずかったと思っていますので、今後はこういうことの

無いように気をつけていきたいと思っています。

[久保議長]

コンサート関係は、演奏される方は芸術的な感性、細やかな神経がありますので、できるだけこられる方々にもご理解ご配慮をいただけるような形でお願いいたします。

[久保智委員]

龍神で実施されるチャレンジ推進事業ですが、雨が降っている中で川下りなどの事業は、計画通り実施されるのですか。それと、チャレンジ推進事業推進員の中に、生涯学習の推進計画を推進している社会教育委員会議の議長(龍神地域選出)の名前が入っていないのはどうかと思います。日程は20日までであるので、この場で是非要請されてはどうでしょうか。

[鈴木所長]

事業は雨天等の状況によりまして実施内容は変更する予定です。

今年については、推進委員は決まっています、実働は推進員さんだけでなく、高校生リーダーや地元青年クラブの会員さん等のボランティア員さんが主になっています。ご提言いただいた件は、来年度にでも検討させていただきます。

[濱田教育次長]

このチャレンジ推進事業だけでなく、地域では様々な事業が行われています。地域から推薦いただいている社会教育委員さんは、その全ての事業に名前を連ねるのではなく、もうひとつ高所からご支援いただきたいというふうに考えています。

[久保議長]

チャレンジ推進事業は、私も子どもが5年生の時に参加しました。推進委員には入っていませんが、これからもボランティア等で陰ながら支えていきたいと思っています。

[近藤委員]

私は、美術館協議会委員で参加させていただきます。事前に協議内容の資料はいただくと思いますが、これまでの協議内容などを教えていただければと思います。

[辰巳主任]

当年度の事業経過報告と翌年度の事業計画をお話しさせていただき、その日に作品選定委員会を開催しましたら、購入や寄贈があった内容等の報告をさせていただきます。詳しいことは改めてお話しさせていただきます。

[鈴木委員]

山本丘人展ですが、学校や地域の公的機関にはポスターを貼っていますが、保護者に直接触れるものが少ないと思っています。せっかく田辺市内に良い美術館があるので、もっと多くの人に参加できたらいいと思うのと、もっと小学生から大学生までの学生さんが通われたら良いと思います。アピールや広報の方法をどのように考えられているのかお聞きしたい。

[辰巳主任]

広報は各家庭にお届けするのが良いと思いますが、現実的には難しい。できる範囲内として、広報田辺の記事として掲載をお願いしています。教育委員会や校長会でもお願いをしているのですが、現状は学校内や施設内にポスターを貼ってもらうことやチラシを置いてもらうことぐらいで、子どもたちにお話いただくのは各先生に委ねているのが現状です。もっとアピールできる方法は現在模索中ですので、ご了承いただきたい。

[近藤委員]

先ほど、協議内容をお聞きしたのは、鈴木委員さんが言われたことも兼ねています。私は、山本丘人展の多摩美術大学の先生がいらっしゃる時にも手話通訳で行かせていただ

くのですが、これまではせっかくきていただいても観客が少ないわけです。その対策がされているのか、これまで協議会の中でそういった話がされているか、その辺りもお聞きしたい。また、協議会のメンバーは限られた人の中で話をされているので、どうすれば美術館を活用していただけるのかということ、社会教育委員の皆様にお聞きするのも一考ではないかと考えます。そういうこともあって、協議内容についてお聞きした次第です。

[辰巳主任]

先ほどは事業の報告と簡単に申し上げましたが、事業内容はいろいろとご意見をいただき、ご審議いただくこととしております。協議会内でご提言をいただければ、美術館側としましても具体的に検討しています。委員の皆様の中で出た意見は、代表という形にはありませんが、協議会内でお話いただければと思っています。

[久保議長]

以前、社会教育委員会議の中でも話がありまして、私の職場でもポスター等をお願いして貼ることといたしました。それから、毎回送っていただくようになりましたので、そういった話をどんどん出していけば変わっていくと思いますので、よろしくお願いします。

質疑応答は以上。事務局（生涯学習課） 図書館以外の職員は退席。

5. 協議

(1)新図書館基本計画について

図書館松原館長及び太田次長から図面に基づいて説明。

【質疑応答】

[西川委員]

図書館のミッションとは何でしょうか。図書館は何で評価して、どのようなチェック機能があるのでしょうか。現状を教えてください。

[太田次長]

図書館の基本構想に方向性なども入れています。本の貸し出し等での利用人数はある程度、図書館としては考えています。クリアするにはかなり数字としては難しいのですが、これだけの立派な施設を計画していますので、その方向で進んでいきたい。

[西川委員]

図書館の予算は減っているのですか。全国的にも予算が削減しようとするれば、図書の購入費などは切られているのが現実だと思うのですが、田辺市の場合はどうでしょうか。

[松原館長]

田辺市の場合は、今のところ合併後も旧図書館と新図書館の分も含めると、徐々に増えています。

[西川委員]

Big・Uにも県立図書館があり、いろいろな声を聞いている中で、予算を減らそうという意見もあり、極論で言いますと、趣味で読みたい本は自分で買いなさい、という考えの図書館が全国的に増えています。その中で図書館のミッションをもう一度考えるべきではないでしょうか。図書館と義務教育は絶対無償の原則があり、誰がきても本を借りることができ、Big・Uにも毎日お越しになる人もいるし、求職中の人や高校生の方もいます。現在は格差社会と言われていますが、図書館は誰が使ってもいいし、誰に対しても知的財産の提供ができるということがミッションの一つです。

もう一つ、この話は公民館とも繋がっていきませんが、現在、地域課題が無数あります。趣味での貸し出しだけでなく、地域課題に即した運営が求められるのではないのでしょうか。

専門的な資料や参考となる郷土資料の提供など、地域課題を解決するための図書館という位置づけが必要だと思っています。これは各公民館にも必要だと思っていますが、そういったソフトの連携計画などはこれからですか。

[太田次長]

図書館のコンセプトの一つに郷土資料というものがあります。例えば、古文書類などもございます。歴史民俗資料館や南方熊楠資料館などとの連携も行っています。郷土資料を活かす土壌はあると思っています。県立図書館や大阪府立図書館との連携も新図書館の11項目の中に入れております。

[西川委員]

僕は図書館を応援しています。造るといふときの議論の中身は分かりませんが、県立図書館がある中でいろいろな意見があったと思います。県のものとの市のものとの差をどこに出すかというミッションさえしっかりとしておけば良いと思います。趣味の本を貸し出すような予算は削減しては、という意見や県立図書館があるといった意見に対しても、市の図書館はこういうコンセプトでこういう地域課題を解決するのですよ、という説明ができれば、理解していただけたらと思います。

[松原館長]

建物ばかりの説明をしましたが、我々は、「建物だけ作ってきてください。」という商売では駄目です。各行政局に公民館の図書室もありますが、人口が減ってきていて利用者も減少しています。地域の図書館の活用や移動文庫の活用なども課題であります。図書館協議会や地域の皆さんの意見を聞き、またこの場でも報告をしながら進めていきたい。

[近藤委員]

環境面についての配慮は素晴らしいと思いますが、防犯面やA E Dの設置、障害者への対応などはどのようにお考えですか。

[松原館長]

A E Dは設置したい。障害者への配慮は福祉関係者と対応を検討しています。防犯カメラも設置したいと思いますし、何か起こった場合の対応も協議しながら検討していきたい。

[太田次長]

現在も視覚障害者への対応として録音サービスを行っており、今後も継続していきます。

[平野委員]

市として、子どもたちの読書への関心を高めていくために、できれば学校・校区で行っている読み聞かせサークルへの援助や、積極的にこういう場所を利用しながらボランティアの人に協力していくような対策をしっかりと進めていきたい。

施設面では、憩いの市民広場が死角になって、子どもたちの溜まり場にならないようもう少しオープンにしていきたい。子どもたちに施設を利用していきたいが、そういった面が気になっていますが、そういった論議があれば、お聞かせいただきたい。



[太田次長]

読み聞かせの会への支援ですが、5年前に読み聞かせサークルへの援助や講習会・研修会を催すという内容で子ども読書活動推進計画を作りましたが、今年度末で計画が終了します。今、新たに5年間の計画を作っておりまして、読み聞かせサークルへの支援や、田辺おはなしの会というサークルと連携して、本館だけでなく分室でのおはなし会なども行っています。講習会も7月28日に中辺路で行いますし、今後も側面からの支援を新館と

併せて充実していきたいと思っています。

施設の面では、いろいろな意見がありました。木は植えていますが、職員も外を見回するなどして、できるだけオープンにしていきたい。夜もうす明かりをつけ、壁面が浮かびあがる形になると思いますが、いたずら等をされないように防犯面も考えていきたい。

[高垣委員]

建物の場合、窓際と部屋の真ん中では明るさが違います。電気のスイッチによっては、無駄な電気をつけなければならない。電気の配慮もしていただきたい。

それから、駐車場は有料ですか。

[松原館長]

駐車場は基本的には有料です。総合センターでは1時間無料ですが、無料の時間などは協議です。無料にしますと、自分の駐車場にされることなども考えられますので、基本的には有料です。電気設備に関しては、設計の段階でそういうふうに組み込んでいます。

[川根委員]

図書館の利用状況ですが、6月の平均入館者数が221人ですが、どれくらいの利用人数を見込んでいますか。

[太田次長]

図書館の利用は、1日平均として800から1,000人入るのではないかと見込んでいます。休日はもっと入ると思っています。

[久保智委員]

施設建設にあたって、避難場所にしてはという意見がありましたが、その計画はどうなりましたか。

[松原館長]

近くに東陽中学校と田辺第二小学校がございまして、一次非難的に使用していただくのは結構ですが、避難場所とする予定はございません。

[田ノ岡委員]

この施設は図書館と資料館ですが、中心市街地の活性化という面で商業的な施設が入ってもいいのではと思います。

人員配置や運営計画のことをお聞きします。今後、人員削減されていくなかでボランティアの活用等はお考えでしょうか。また、図書館の開館が23年の12月に対して、資料館が24年の7月ということですが、なぜこれほどのタイムラグが出るのでしょうか。

建物の外観ですが、平面図だけではイメージが湧きにくいので、今の段階でのイメージ図のようなものは無いのでしょうか。

[松原館長]

商業施設ですが、付近に商店があるので、公共施設が民間業を圧迫はできないということで、施設の利用者が周辺の商業施設を利用して、活性化してほしいと思っています。

人員配置ですが、年末年始と整理日、月曜日の休館日以外は、土日、祝日もオープンし、開館時間も夜8時までの予定です。現在、職員と臨時職員を合わせて13名いますが、もう少し人数を増やさないと対応が難しいので、図書館協議会や社会教育委員会議にも相談しながら、今年度中に協議したい。

建物のイメージ図の件ですが、最初は鉄筋コンクリートの四角い2階建てを予定していましたが、屋根の傾斜や軒先など変更点も出てきています。1階部分は変わり無いと思いますが、2階部分がもう少し煮詰まっていますので、ご了承いただきたい。出来上がり次第、委員の皆さんにもお示しします。

[太田次長]

歴史民俗資料館の件です。建物は同時期に完成しますが、入れる史料によっては建物に入れる際に影響があるものもございます。史料へ配慮をしながら半年から1年をかけて品物を入れると聞いています。できるだけ合わせたいのですが、図書館はそういう訳にはいきませんので、タイムラグが出てきます。

[鈴木委員]

先日、図書館協議会で駐車場をお願いをしました。図書館に行って駐車料金を払うのは、子育て世代の方々には納得もいかないし、苦情も多いと思います。紀南文化会館前の駐車場と同じ料金体系にはしないでほしい。ゆったりと本を見たいと思うので、図書館を利用した人は機械を通せば無料になるようなものも考えてはいないのでしょうか。

[松原館長]

ご要望はお伺いしています。私は基本的には有料とお話しましたが、どこまで配慮できるか分かりませんが、今後も協議していきたいと思っています。

協議(1)新図書館基本計画については終了し、図書館職員は退席。

(10分間休憩)

(2)平成21年度社会教育委員会議の運営について

久保議長から前回までの説明をし、今年度の運営について協議を開始する。

[田ノ岡委員]

個人的には、こういう会議室ではなく、地域に出て地域の意見を聞きたいと思います。

[久保議長]

昨年も地域の現状を知る必要があるということで、地域の問題点や地域の苦勞されている実情を聞くなどしていますので、そういうことも良いかと思います。

[近藤委員]

前回、各協議会委員が決まっていますが、社会教育委員の代表として行く訳ですから、個人の意見もありますが、各協議会の前には皆さんから意見や知恵をいただいて行ければありがたいと思いますがいかがでしょうか。私は美術館の委員ですが、入館者数を増やすために、ただポスターの配布などだけでなく、各方面から問題点について考えていただかないとせっきくの財産がもったいないと思います。

[久保議長]

各協議会の時期などは決まっているのでしょうか。

[小川係長]

それぞれの協議会から、推薦させていただいた委員に直接案内が届きますので、日程は全て把握していません。こちらで確認をしまして協議会が開かれます前に、委員の皆様から意見をお聞かせいただくということは可能だと思います。そのプロセスを踏むということであれば、事務局で調整させていただきます。

[久保議長]

各委員さんにお任せではなく、皆さんで考えていけたらと思いますので、お願いします。

[羽根委員]

先ほど、地域に出てはということでしたが、地域の人々の声を聞くのは私もとても良いことだと思います。私は本宮ですので本宮館もできましたし、是非活用いただけたらと思います。

[久保議長]

前回の堀内先生の研修の中で、教育委員会を見たことがあるのかと言われました。毎回お邪魔するというよりは、特別な議題がある場合などは事務局からご連絡をいただければ、参加して聞いてみたいと思っています。

[近藤委員]

教育委員会の範囲・内容を教えていただきたい。

[大門課長]

教育委員会は5人の委員さんの合議制で行われる一番大きな組織です。本日の議題に学校教育関係や学校施設の関係も含めて教育分野の全てが集まります。本日の報告案件の倍程度の報告があり、内容はほとんどが報告となります。条例を変えるなどの大きな案件の場合は、委員さんに議論していただいています。全て公開で毎月行われており、報道関係やいろいろな方が傍聴にいられています。社会教育委員会議が次いで大きな組織で、その下に各課の協議会等があります。生涯学習課にも公民館長・主事会議やPTA連合会、田辺市青少年育成市民会議、田辺市子どもクラブ育成協議会などがあり、事務局を担当していますが、教育委員会や社会教育委員会議には、何か事業等がありましたら全て報告をさせていただきます。

[田ノ岡委員]

一覧表のような資料をいただきたい。本日の資料には社会教育委員会議の年間の日程表と社会教育関係課の月の行事予定がありますが、こういったものがいただければ、考える材料になるし、今回はこの協議会があるのでこのことについて協議しようといった形ができるのではないのでしょうか。

[小川係長]

整理しまして、委員の皆様にはお示しさせていただきます。

[西川委員]

現場に出て行く意見に賛成です。田辺市には44の公民館があり、地区実現の場や地域課題を学ぶ場としての公民館があるのは、他所からきた人間としてはとても魅力的です。先日、社会福祉協議会の事務局長さんと生涯学習推進計画のお話をしたところ、社会福祉協議会でも地域福祉計画があり、ワークショップ型で地域の課題をpushしており、こういったものを融合するのが社会教育委員の仕事ではないのか、と思いました。地域に出ると、福祉も社会教育も同じような課題を抱えているので、それを一緒に行う仕掛けができないものかと思います。全ては無理としても、モデル地域のようなものを指定して社会教育委員として地域課題の解決への仕掛けができれば面白いと思っています。

[大門課長]

公民館では、地域の方々に公民館の運営委員や運営協力員になっていただいて、全体の年間行事などを作って運営をしていただいています。先ほどの社会福祉協議会でも地域に社会福祉委員さんがいまして、公民館と一緒に活動していただいている地域もあるかと思っています。地域課題は、生涯学習や地域活動であろうが、福祉活動や子ども会の活動であろうが、全部一緒のことであるのでみんなで議論しませんか、という公民館もあります。

[三栖係長]

公民館事業というのは、年間を通じて計画し、事業を行っています。先ほど、西川委員が言われた生涯学習推進計画に基づいて、各公民館で5年間の地域別の計画を作成しています。しかるべき時期に一定の報告はさせていただこうと思っています。平成19年度の地域シンポジウムや公民館の住民参加の運営協力員さんの意見を尊重しながら、地域課題を掘り起こして、事業計画としてそれを解決するための学習を盛り込んでいこうとしてい

ます。もちろん、地域福祉計画などの行政分野別の計画、課題とのオーバーラップや共通点なども整理はしきれていないのは現状ですが、課題などは同様に盛り込んでやっていこうと思っています。

[千品委員]

生涯学習課の縦の流れを説明いただきましたが、その流れを少し住民主導でもっていけたらと思います。地域の課題というのは分かっていると思います。私は市民活動センターで活動を行っていますが、そういう団体との繋がりをもっていけたらと思います。そういう見えるような、結果として出せるような活動をしていきたい。こういう場で報告を聞いているだけでは実感は湧きづらいです。

[嶺口委員]

私は大塔村の代表できていますが、大塔公民館の今年の活動や状況を聞いて、常に公民館に顔を出しながら活動をしています。その中で、公民館は市民の中で動ける公民館であってほしいと思っています。子どもから高齢者までのみんなが公民館活動を通じて元気になってほしいと思っています。

[久保智委員]

大塔村の地域は、地域を盛り上げる活動は素晴らしいと思います。毎年4月29日に行われている若葉まつりでは、他所に出て行った人もその日には帰ってきて一緒に活動をしています。地域の人と公民館活動、社会教育が一体になって地域を盛り上げているのは素晴らしいと思っています。

[山本委員]

社会教育委員として団体の代表の方々が集まっていますので、そういった団体が集まって一つのことができればと思います。任期が2年ですので、例えば紀南文化会館などで文化事業を行うなどすれば、その中で違った交流や意見も生まれてくると思っています。



[川根委員]

前回は大塔行政局で何回か勉強会を行いました。各団体の問題点などを出し合っている分野の目で見ると、一つでも課題解決の方法などをまとめてみてはと思っています。

[久保議長]

各地域の現状や課題を把握して、私たちの仕事として横の繋がりなどを持ちながら課題解決について現実的にどうしていくかということを表していけるような会議にしていきたいと思っています。まずは、地域を回るということによろしいでしょうか。

[西川委員]

地域ごとの公民館計画を聞くというのはどうでしょうか。そうすれば、作られた方とのコラボレーションができると思います。

[久保議長]

そういう形はいかがでしょうか。また、複数の公民館にお集まりいただいて話を聞くというのは可能でしょうか。

[三栖係長]

既にできたところもありますし、館があるところもありますので、館長や主事とご議論いただくこともできます。全部行くのは無理だと思いますので、セレクトいただければと思います。複数の公民館が集まって話を聞くというのも可能です。田辺市はかなり広域なので、市内を市街地・新興住宅地エリア、農村住宅地エリアともう1つは旧町村部を山間地エリアということにしております。そのエリアごとに集まるなどの方法も考えられます。

[千品委員]

中心市街地と過疎集落地の公民館同士で話し合うと、見えてくる角度も違ってコラボレーションができるのではないのでしょうか。

[久保議長]

本日は、次回の場所や内容などの形まで決めておくほうが良いですか。

[小川係長]

日程的には9月18日の金曜日に次回の定例会を予定しています。場所と協議事項までは決めていただけたらありがたいです。今出てきたキーワードとして、公民館ということで、それぞれの地域性がある中で、どんな活動をしながら、どんな課題をかかえているかというところを探ろうということが、ご意見かと思っています。まず、どこに出て行くかということをお場で決めていただければと思っています。

[久保議長]

私の意見としては、今回はとりあえず旧田辺市内から出発していきたいと思います。秋津野ガルテンなどはいかがでしょう。

秋津野ガルテンの空き状況を確認。

[久保議長]

秋津野ガルテンが9月18日は大丈夫だということで、今回は秋津野ガルテンで開催するというのでよろしいでしょうか。(一同賛成)

それでは、次回9月18日に秋津野ガルテンで開催いたします。

[山本委員]

情報という点で気になっていたのですが、田辺市のホームページで公民館報なども見られますのでホームページも見ていただければ情報を得られると思いますので、是非ご覧になってはいかがでしょうか。

[大門課長]

今は公民館報を全館で発行しています。ホームページでも見ることができますし、また、皆様方にお渡しもさせていただきたいと思います。

[久保議長]

委員の皆さんにはホームページも見ていただいて、公民館報や情報をご覧いただきたいと思います。また、地域ごとでそれぞれの課題などを見つけていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(3)その他

- ・社会教育功労者表彰選考委員への推薦について

小川係長から「協議事項資料4～5頁」について、説明を行う。

選考については、事務局に一任されたため、久保議長、高垣副議長、平野委員、千品委員を推薦し、了承された。

- ・第3回定例会の日程調整について

小川係長が先ほどまでの協議内容を再度確認。

9月18日(金)の午後、秋津野ガルテンで開催。公民館の選定については、計画のできている公民館と地域性を考慮して事務局で選定することで了承いただく。

- ・近畿社会教育研究大会について

小川係長から9月3日～4日に奈良県で開催される近畿社会教育研究大会についての行程等を事務局から参加者に説明を行う。

【質疑応答】

[高垣副議長]

社会教育功労者表彰ですが、その職を何年以上というような規定はありますか。

[小川係長]

市役所の各課にご案内しまして、それぞれの課で基準を定めておりまして、公民館やスポーツであれば10年以上といった基準を定めています。社会教育功労者表彰独自の基準はありません。

【その他連絡】

- ・ 西川委員から「和歌山大学紀南サテライト2009年度後期」と「高等教育機関コンソーシアム和歌山」の紹介。
- ・ 小川係長から羽根委員が7月20日付けで教育委員に就任され、社会教育委員を7月19日付けで辞任される旨の説明を行う。その後、羽根委員から退任の挨拶を行う。

[羽根委員]

2回ご一緒させていただいて、これから皆さんと意見を言って、田辺市が活発になればと思っていたところでした。立場は違いますが、思いは一緒ですので頑張っていきたいと思います。

6. 閉会

高垣副議長から閉会あいさつ。

先日の大雨で家の周りが水没していましたが、2～3日中に皆さんからいろいろな連絡をいただきました。日頃のお付き合いは大切だと感じています。まだまだ雨も降りそうですので、皆さんも十分気をつけていただきたいと思います。お疲れ様でした。

